# ハーフクローラトラクタ

# 取扱説明書

## GOK301　GOK341



ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

本取扱説明書はホイールトラクタ(タイヤ仕様)との異なる点のみをまとめて説明しています。その他の項目は，［GO261～GO341の取扱説明書］をご覧ください。

## 1．安全作業の為に

ハーフクローラトラクタはホイールトラクタ（タイヤ仕様)と異なりますので，この［安全作業の為に］をよく読み，ご理解の上，使用してください。

### ⚠ 路上走行をする時は…

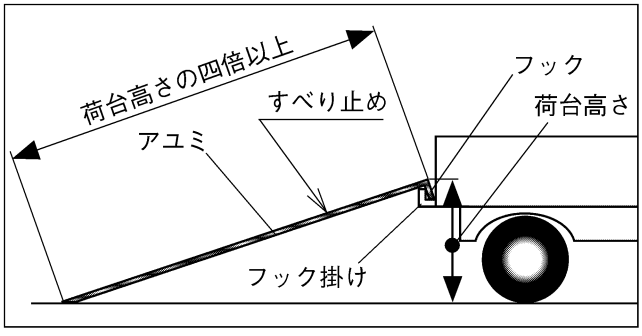
⚠注意 クローラ部が凸部を乗り越える時は，急に姿勢が変わりますので十分注意してください。また，凸部を斜めに乗り越えるとクローラが外れる場合がありますので，凸部に対して直角に乗り越えてください。



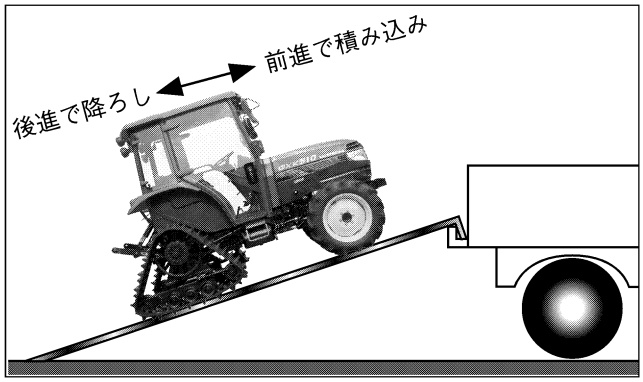
### ⚠ 自動車への積み込み・積み降ろしをする時は…

⚠警告 アユミは，機械の質量に耐える強度・幅（クローラがはみ出さない幅）・長さ（荷台高さの四倍以上）のあるすべり止め及びフック付きのものを使用し，ハーフクローラトラクタの質量でアユミが傾いたりしない場所を選んでください。

⚠警告 トラックは荷台後部にアユミのフックを掛ける構造になっているものを使用してください。




⚠警告 トラックへの積み降ろしは，必ず左右のブレーキペダルを連結し前進で積み込み，後進で降ろしてください。前進で降りると，クローラがアユミの段差ですべり，前輪が浮いて車体が旋回し転倒事故につながる恐れがあります。また途中で変速すると危険ですので，あらかじめ安全な遅い変速位置に入れて運転してください。

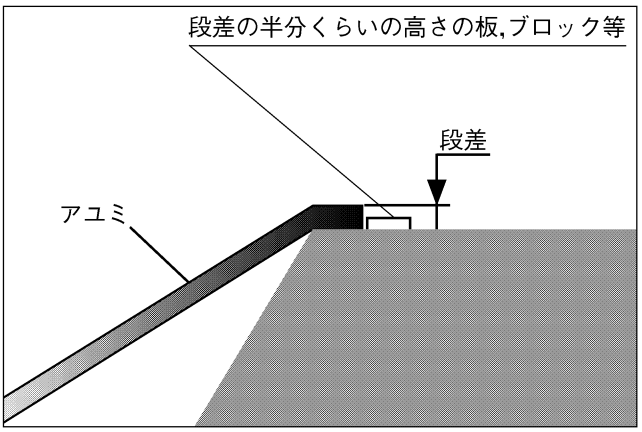



⚠警告 クローラがアユミの段差に引っかかり，アユミに乗り上げない場合は，いったん機械を元に戻し，アユミをかけ直して，段差の半分くらいの高さの板，ブロックをアユミの前に置いて，段差を少なくしてからやり直してください。

### ⚠ ほ場で作業をする時は…

⚠警告 アユミはすべり止め及びフック付きのものを使用し，左右の先端をそろえ，前後にずれないように確実に固定してください。

⚠警告 アユミとアユミを掛けた面との段差が大きい場合クローラがアユミの段差に引っかかり重大な事故を引起す原因になりますので，段差の半分くらいの高さの板，ブロック等を置いて段差を少なくしてから低速で運転してください。




⚠警告 ハーフクローラトラクタは，左右に大きな段差のある状態で作業や旋回を行なうと，クローラが外れる場合があります。プラウ作業などで片側のクローラを溝に落としての作業は行わないでください。

⚠注意 積雪，凍結路面では非常にスリップしやすくなります。坂道での走行や傾斜地での作業はスリップに注意してください。

⚠注意 極寒地での作業はゴムクローラの材質が変化し寿命を縮めます。−25℃～55℃の範囲で使用してください。

⚠注意 ゴムクローラに燃料，オイル等が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
そのままにしているとクローラの劣化につながります。

## 2．仕様（装備）について

主な仕様（装備）は次のようになっています。

仕様（装備）の異なった製品については，異なる点のみ追加説明していますので，お買い上げの製品の仕様（装備）をお確かめのうえ，まちがいのないように活用してください。

品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，本書と内容および写真・イラストなどの一部が，本製品と一致しない場合がありますのでご了承ください。

| | 型　式　名 | | | 三菱GOK301 | | 三菱GOK341 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 区　　分 | | | V | XV | V | XV |
| 仕様 | 2柱フレーム | | | ○ | − | ○ | − |
| | キャビン（エアコン付） | | | − | ○ | − | ○ |
| | パワーステアリング | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | チルトハンドル | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 倍速旋回 | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | オートブレーキ旋回 | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | リターンPTO | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | タイヤ・クローラ | 標準 | 前　輪 | 7−16 | 7−16 | 8−16 | 8−16 |
| | | ハイラグ | 後　輪 | ハイラグクローラ | ハイラグクローラ | ハイラグクローラ | ハイラグクローラ |
| | e-mac | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | おまかせMAC | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | e-shift | | | ○ | ○ | ○ | ○ |

・型名記号の説明

X＝デラックスキャビン（エアコン付）

V＝e-mac（高機能型MAC）＋e-shift（ノンクラ車）

## 3．運転前の点検

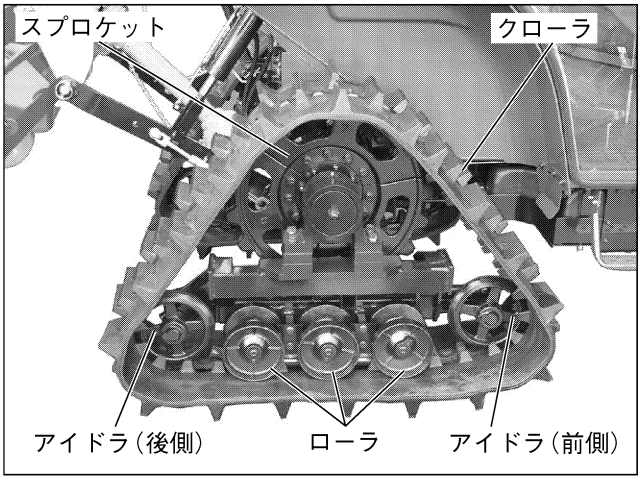
❶　ゴムクローラの張りと亀裂，損傷が無いかを点検します。クローラの張りが緩い場合は適切な張りに調整します。（4ページ参照）

大きな亀裂や損傷がある場合は「**お買いあげ先**」で交換を行なってください。

❷　スプロケットの摩耗を点検してください。

❸　可動部分やゴムクローラへの石等のはさみ込みが無い事を確認し，はさまっている場合は取除いてください。

❹　各部のボルト，ナットの緩みが無いか，点検してください。




## 4．運転操作のしかた

⚠警告 **凸凹やカーブの多い所では，高速走行をしないでください。ハンドル操作ができなくなる恐れがあります。**

❶　ほ場での旋回は速度を下げ，ハンドルとブレーキ（片ブレーキ又は倍速旋回・オートブレーキ旋回）を併用してください。

❷　片側クローラをロックしての急旋回は，ほ場を荒しますので，切返しでの旋回をお勧めします。

❸　機械保護の為，運転中に急発進，急停止，急旋回等，無理な操作はしないでください。

❹　重けん引作業を行なう時は低速で行なってください。

## 5．定期点検整備表

機械の点検整備につきましては[**GO261～GO341の取扱説明書**］の**85ページ**から始まる「**手入れのしかた**」を参照してください。ここでは，ホイールトラクタと異なる点のみ説明いたします。

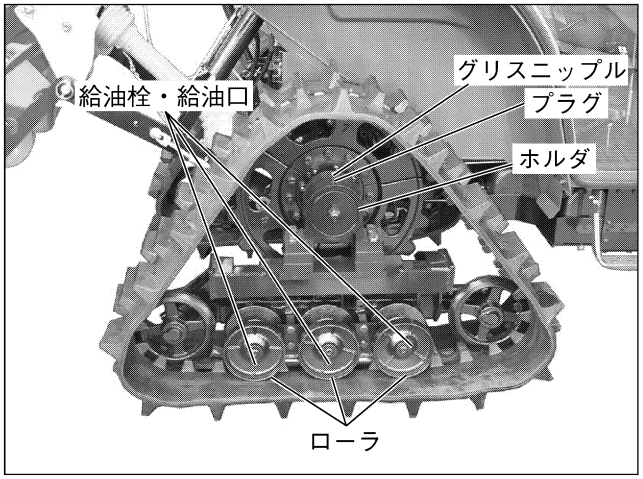
| 点検整備項目 | 整備内容 | 点検時間 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 運転前 | 50時間毎 | 150時間毎 |
| クローラ | 点検 | ○ | | |
| ローラ | 点検，補給 | ○ | | ○（点検，補給） |
| アイドラ | 点検，補給 | ○ | | ○（点検，補給） |
| ホルダ | 点検，補給 | ○ | ○（補給） | |

## 6．給油給脂個所

⚠警告 **掃除・点検・調整は機械を平坦な場所に置き，エンジンを停止して各部の動きが止まってから行なってください。**

❶　50時間毎にホルダーにグリス給脂してください。ホルダー上部のプラグを外し、グリスガンを使用してグリスニップルへ補給してください。

❷　150時間毎にローラにオイルを給油してください。補給時は給油口を最上位置にし、オイル差しでオイルがあふれ出るまで補給してください。給油栓は締付時ネジ部にシールテープを巻いてください。



## 7．クローラ部の点検

⚠警告 **掃除・点検・調整は機械を平坦な場所に置き，エンジンを停止して，各部の動きが止まってから行なってください。**

⚠警告 **ゴムクローラを張りすぎないでください。また緩めすぎないでください。ゴムクローラが転輪から外れたり，断裂して死傷事故につながることがあります。**

❶ ゴムクローラに亀裂，損傷が無いか点検し，大きな亀裂や損傷がある場合は「**お買いあげ先**」で交換を行なってください。クローラのたわみが大きいときは張り調整を行なってください。

❷ ローラ，アイドラ，スプロケット，クローラガイドに損傷又は変形が無いか点検し，損傷又は変形がある場合は「**お買いあげ先**」で交換を行なってください。

❸ ローラ，アイドラのオイルシールは，200時間毎に点検し，異常がある場合は「**お買いあげ先**」で交換を行なってください。

❹ 可動部分やゴムクローラへの草の巻付き，石等のはさみ込みが無い事を確認し，はさまっている場合は取除いてください。

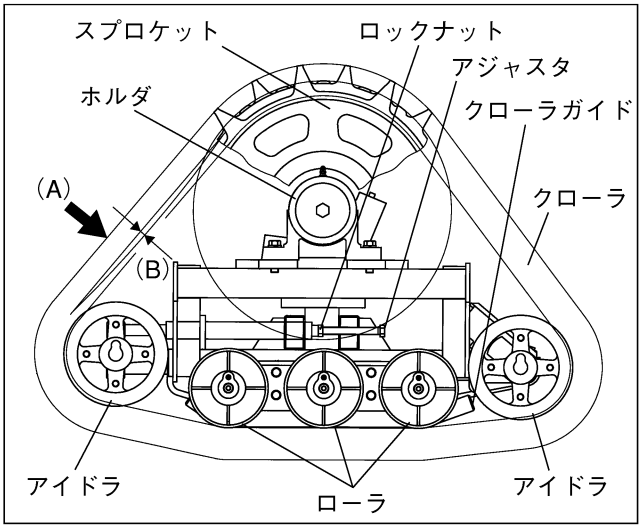
❺ 各部のボルト，ナットの緩みが無いか，点検してください。

❻ **クローラの張り調整**

⚠注意 **クローラが緩んだままで使用すると，走行中にクローラが外れるおそれがありますので，定期的に点検を行ない，常に適切な張りで使用してください。新車時やクローラ交換直後20時間程度は初期のびしますので始業時には張りの調整を行なってください。**

・クローラの(A)部を**196N～245N(20kgf～25kgf)**の荷重で押します。

この時ゴムクローラのタワミ（B）が**10～15㎜**になるようにアジャスタを回して調整します。左右のクローラの張りがほぼ同じになるように調整してください。調整後は確実にロックナットで固定してください。



## 8．主要諸元

| 型式名 | | | 三菱GOK301 | | 三菱GOK341 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 区分 | | | V | XV | V | XV |
| 駆動方式 | | | 4輪駆動（後輪クローラ） | | | |
| 機体寸法 | 全長（㎜）（ロワリンク先端） | | 3140 | | | |
| | 全幅（㎜） | | 1600 | | | |
| | 全高（㎜）（ハンドル上端） | | 1995（1515） | 2010 | 1995（1515） | 2010 |
| | 最低地上高（㎜） | | 365 | | | |
| 機体質量［重量］（kg） | | | 1705 | 1890 | 1705 | 1890 |
| エンジン | 型式名 | | S4L2 | | | |
| | 種類 | | 水冷4サイクル4気筒ディーゼル | | | |
| | 総排気量（L{cc}） | | 1.758{1758} | | | |
| | 出力／回転速度（kW{PS}／rpm） | | 22.1{30}／2500 | | 25.0{34}／2700 | |
| | 使用燃料 | | ディーゼル軽油 | | | |
| | 燃料タンク容量（L） | | 32 | | | |
| | バッテリ（V・Ah） | | 12・55 | 12・64 | 12・55 | 12・64 |
| 走行部 | 前輪 | | 7－16－4PR | | 8－16－4PR | |
| | ゴムクローラ | パターン | ハイラグ | | | |
| | | 接地長（mm） | 900 | | | |
| | | 幅（mm） | 400 | | | |
| | | リンク数 | 35 | | | |
| | | ピッチ（mm） | 90 | | | |
| | 接地圧（kPa {kgf／㎠}） | | 14.9{0.15} | 16.5{0.17} | 14.9{0.15} | 16.5{0.17} |
| | 軸距（mm） | | 1620 | | 1770 | |
| | 輪距 | 前輪（mm） | 1120 | | 1115 | |
| | | 後輪（mm） | 1200 | | | |
| | クラッチ形式 | | 乾式単板 | | | |
| | ブレーキ形式 | | 湿式多板 | | | |
| | かじ取方式 | | パワーステアリング | | | |
| | 変速方式 | | 同期かみ合い式 | | | |
| | 変速段数 | | 前進16，後進16 | | | |
| | 走行速度 | 前進（km／h〔最高速度〕） | 0.20～13.25〔14.30〕 | | 0.20～13.18〔14.15〕 | |
| | | 後進（km／h〔最高速度〕） | 0.20～13.20〔14.26〕 | | 0.20～13.13〔14.11〕 | |
| | 最小旋回半径（m） | | 2.1 | | 2.4 | |
| PTO | 回転速度（rpm） | 正転 | 555，768，1018，1294 | | 553，764，1013，1288 | |
| | | 逆転 | 550，761，1009，1282 | | 547，757，1003，1275 | |
| | 軸径（mm） | | JIS 35（6スプライン） | | | |
| 昇降作業装置 | 制御方式 | | ポジションコントロール | | | |
| | 装着方式 | | 3点リンク　1型 | | | |

※この仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## 9．3点リンク

❶ 3点リンクの寸法はホイールトラクタと異なりますので，下記を参照してください。

・ロアリンク後方目玉の地上高(㎜)

(▒▒内はロータリ装着時)

| | | ロワリンク | 前穴 | 後穴 |
|---|---|---|---|---|
| リフトロッド | 上穴 | 最上げ | 939 | 946 |
| | | 最下げ | 306 | 494 |
| | | 揚程 | 633 | 452 |
| | 下穴 | 最上げ | 870 | 897 |
| | | 最下げ | 194 | 402 |
| | | 揚程 | 676 | 495 |

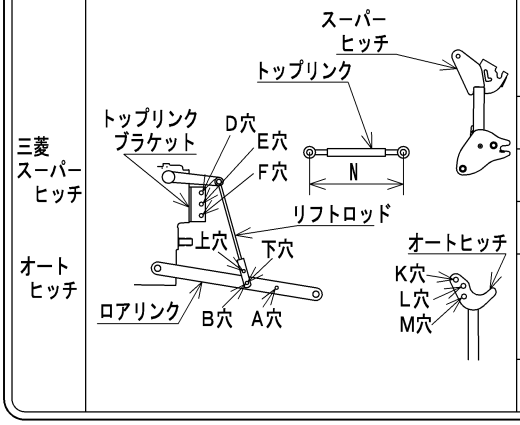
❷ 3点リンクの取り付け

3点リンクの取り付けは作業機によって異なりますので，下記の表と作業機の取扱説明書を参照し，取り付けてください。

### ロータリ・駆動型ハロー取付要領

10702748001

ロータリを取付ける時は3点リンクを下表に合わせてください.




| 装着方式 | | 三菱スーパーヒッチ | オートヒッチ | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 松山ヒッチ | 小橋ヒッチ | ササキヒッチ | スターヒッチ |
| リフトロッド取付穴 | | 下 | 下 | 下 | 下 | 下 |
| ロアリンク取付穴 | | B | B | B | B | B |
| トップリンクブラケット穴 | | D | F | F | E | F |
| トップリンク長さ (N) mm | サイドロータリ | 535 | 642 | 690 | 655 | 637 |
| | センターロータリ | | | | | |
| オートヒッチ取付穴 | | - | K | K | K | K |

## 10．ロータリの取付け，取外し

ロータリは標準 3 点リンクのスーパヒッチで取り付けます。

❶スーパヒッチの準備

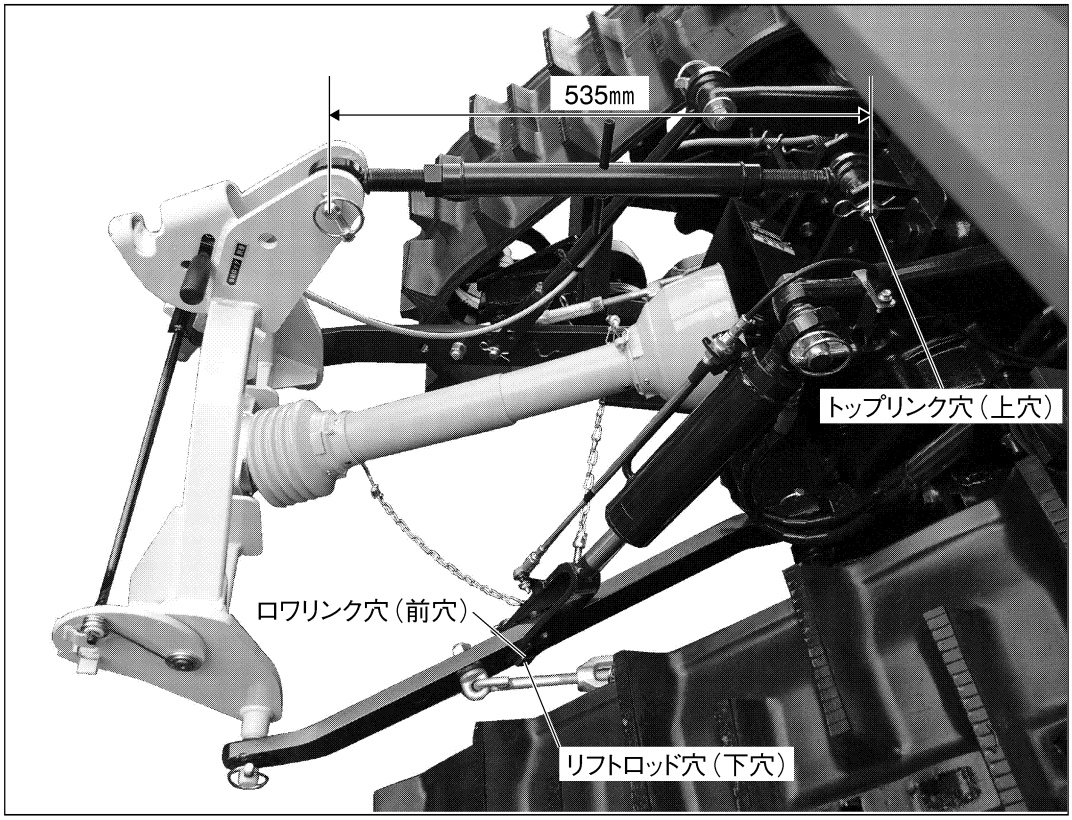
・トラクタのトップリンク、リフトロッド、ロワリンクのセット位置を確認します。

トップリンク長……535㎜

トップリンク穴……上穴

リフトロッド穴……下穴

ロワリンク穴……前穴




❷　そのあとの手順（スーパヒッチ、ヨークの取り付け・ロータリの取り付け、取り外し）については、**「三菱ロータリRB145S～195Sの取扱説明書」**の 9 ～14ページを参照してください。

## 11．トレッド

・ハーフクローラトラクタは，前輪タイヤ，及び後輪クローラのトレッド調整はできません。

| | タイヤ・クローラ | | 駆動方式 | 調 整 段 数 | | 前輪トレッド(㎜) | 後輪トレッド(㎜) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 前　輪 | 後　輪 | | 前　輪 | 後　輪 | | |
| GOK301 | 7－16 | ハイラグクローラ | 4 駆 | 1 | 1 | 1120 | 1200 |
| GOK341 | 8－16 | | | | | 1115 | |

## 12. 給油・給脂・給水表

| 種別 | No. | 個所 | 種類 | 分類 APIサービス分類 | 分類 SAE粘度番号 | 容量(L) | 交換時期 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ハーフクローラトラクタ | ① | エンジン クランクケース | エンジンオイル | CF級 (またはCF-4, CH-4級) | 10W－30 | 4.5 | 作業前点検・100時間毎交換 (初回点検時50時間で交換) | 90 |
| | ② | 燃料タンク | 軽油 | － | － | 32 | 作業前点検(必要量補給) | 91 |
| | ③ | ラジエータ | 冷却水 | － | － | 6.2 | 作業前点検(必要量補給) [2柱フレーム仕様] | 93～94 |
| | | | | | | 7.4 | 作業前点検(必要量補給) [キャビン仕様] | |
| | ④ | トランス ミッションケース | ダイヤモンドL1339 | GL－4 | 75W－80W | 40 | 初回100時間, 後は200時間毎交換 | 95 |
| | ⑤ | フロント アクスルケース | ギヤオイル | GL－4 | 80W | 3.0 | 初回100時間, 後は200時間毎交換 | 96 |
| | ⑥ | ブレーキリンク (左・右) | グリス | － | － | 適量 | 作業前点検・ 50時間毎給脂 | 97 |
| | ⑦ | ロッドエンド …4個所 | グリス | － | － | 適量 | 作業前点検・ 50時間毎給脂 | 97 |
| | ⑧ | 各ヒンジ部 [キャビン装備機] | ギヤオイル | － | － | 適量 | 必要に応じて点検 | 97 |
| | ⑨ | ウォッシャタンク [キャビン装備機] | ウォッシャ液 (市販品) | － | － | 2.0 | 作業前点検(必要量補給) | 98 |
| | ⑩ | ローラー | ギヤオイル | GL－4 | 純正油 または80W | 0.07 | 200時間毎に点検 (必要量補給) | 4 |
| | ⑪ | アイドラ | ギヤオイル | GL－4 | 純正油 または80W | 0.07 | 200時間毎に点検 (必要量補給) | 4 |
| | ⑫ | ホルダ | グリス | － | － | 適量 | 作業前点検・ 50時間毎給脂 | 4 |

● エンジンオイル……三菱農機純正油
またはディーゼルエンジンオイルAPI分類CF級(またはCF-4, CH-4級), SAE・10W-30

● 燃料……ディーゼル軽油 JIS 2号 (-10℃まで)
JIS 3号 (-15℃まで)
JIS 特3号 (-15℃以下)

● ギヤオイル……三菱農機純正油
またはAPI分類GL-4級以上, SAE・80W

※使用オイルの詳細は「GO261～GO341の取扱説明書」のP131「潤滑油について」を参照してください。

※参照ページの 部は「GO261～GO341の取扱説明書」のページを示します。